

# 日港労連・竹内 一

(中央執行委員長)



## 大幅賃上げと 反戦平和の年に向けて

情勢不安、または近隣諸国による相次ぐミサイル発射等の国際有事或いは緊張状態に晒されています。この戦争に端を発したともいえる異常な物価高騰につきましても周知することであります。加えて、いまだ本紙をおかりしして挨拶をのべさせていたさまも、不当にも結果的に大増税でして大軍拡を行うことでの国際社会における本場の立場を示そうとしてい

# 全港湾・鈴木誠一

(中央執行委員長)



## 大幅賃上げで、若者から選択される産業に！

主に東京港大井町頭コンテナターミナルにて従事してきて、中央専従となりました。大変に身の引き締まる思いがあります。組合員の皆様におかれては3年にも及ぶ、コロナ禍において一日たりとなく、湾、物流を止めることなく、日本の国民生活の維持と継続のため日々の作業、仕事に従事されていることに最大限の敬意を表します。昨秋、コロナ禍は第8波に入りましたが、引き続き、政府・行政は経済活動を制限することなく自治体や個人に自主的な防疫対策を要するよう求めました。全国港湾では関東地方横浜支部所属で京浜港の船内専業者の現業員です。12年前に横浜支部専従役員となる前は

# 大港労組・小嶋敏弘

(執行委員長)

## 今こそ労働条件。賃金を勝ち取るために！ 組合員各位のご協力を！



組員の皆様、ご家族の皆様におかれましては、健康に新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。昨年9月全国港湾は、50周年を迎えました。私全国港湾の執行委員になって20年がたちこの間、全国港湾は協議会から連合会へ移行しました。



く、物価高騰をものとし、国内産業における基幹労働者として適正な根本的な大幅賃上げを求めなければなりません。22港湾春闘を振り返ったとき、精一杯賃上げに取り組み、物価高騰に飲み込まれてしまった22春闘賃上げであったと痛感するところであり、反省点として挙げられます。

全国港湾は、昨年12月14日開催の第4回中央執行委員会に於いて23春闘方針案について確認し、2月7、8日開催の第15回中央委員会に於いて提案審議する定まっております。このなかでも、詳細に考え方が示されています。



# 検数労連・瀬戸 修

(中央執行委員長)



## 組合に結集して頑張ろう！

港灣産別に集う仲間皆さん、明けましておめでとうございます。今年はいまだにコロナ禍もいぜん収束せず、物価上昇も止まませんが、苦難の時ほど、より労働組合に結集して元気にいきましょう。

# 検定労連・遠藤 一幸

(中央執行委員長)



## 防衛費増は必要か？

日本が5年間43兆円もの防衛費を確保するのしいのですが、財源確保に増税を重ねる日本経済の衰退する姿が目に見えます。中国は武力でなく既に北海道まで広大な地を手に入れており、各地に企業や建物の買収も進んでいます。日本の食料の自給率は37%程度で中国からの輸入無しでは成り立ちません。その事への危機感はないのでしょうか。

# 各単組委員長

# 新年のあいさつ

# 全倉運・山本晃弘

(中央執行委員長)

## 一致団結して頑張ろう！



新年あけましておめでとうございます。組合員の皆様、そのご家族の皆様におかれましては、健康やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、その7月にはロシアによるウクライナ侵略戦争が発生し、第二次世界大戦終結以来、最大規模の軍事侵襲発生目の当たりすることになりました。そして年後半に掛けて、長引くコロナ禍の影響によりウクライナ侵襲における物資・資源不足の影響などを受け、日本政策金利差が大きく開きました。このことは第二次オイルショック以来といえる急激な不安を引き起こし、異常ともいえる物価上昇が市民生活を苦しめています。

今年の手支は、十二支を支え合わせ「癸卯(みづのう)」「ウサギ年です。」ウサギは十二支の4番目、あまり聞き覚えの無い「癸(みづ)の」とは十干の最後のあたり陰陽五行説では水の陰とも言われます。ウサギは跳ねる動物ですが、その特徴から、株式相場では、景気が上がり跳ねて、回復すると言われ、縁起の良い年として語られてくるようです。

- 【増山 皆様】新年あけましておめでとうございます。充実した一年が過ぎました。引き続き魅力ある機関紙づくりに励んでいきます。
- 【近藤 本年】も宜しくお願ひ致します。
- 【一足 新年】おめでたい一年が過ぎました。
- 【松永 新年】おめでとうございます。力不足ですが教

- 【外池】今年のは、機関紙の充実が頭張りです。本年も宜しくお願ひ申し上げます。
- 【藤本】あれから今年こそウサギのよつし、今年と飛躍する年にしたいですね。